



あと一步の向上に向けた取組

函館市立亀田小学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

1 学力向上の具体的な方策

校内研究の主題である「学び合い、伝え合い、高め合う授業の工夫」を目指し、その条件整備となる学びの基礎作りとして、算数科の基礎的・基本的な知識・技能の習得に取り組みました。具体的には、「朝学習・家庭学習」の充実、「学力ミニテスト」の実施、「マス計算コンクール」、夏休み中の「学習会」、秋の「チャレンジテスト」、日常の「授業改善」の6つを柱に取り組みできました。

2 取組の概要

- ①「朝学習・家庭学習」の充実 毎日の朝学習を『算数の力を付ける場』とし、基礎的な学習内容の復習を中心に取り組みんでいます。朝学習時間は担任が個別の指導を行い、つまづきを解消します。家庭学習では『学年×10分以上』の学習時間の確保を目標に掲げ、内容面でも、低学年は宿題による学習習慣作り、中学年は宿題からノート学習への移行、高学年は自ら学習計画を立てることを目標に取り組みを進めました。
- ②「学力ミニテスト」の実施 自校で作成した「学力ミニテスト」を年に数回実施し、結果の分析から指導方針を設定して日常の取り組みにつなげたり、指導の成果の確認に役立てたりしています。並行して、家庭学習の実態調査も行いました。
- ③「マス計算コンクール」 朝学習時間を利用して、全校でマス計算の取り組みを行い、成果に応じて級を設定することで、意欲をもって学習に取り組む姿勢を育てました。
- ④ 夏休み中の「学習会」 夏休み中の二日間、いくつかの学習内容のコースを設定して実施しました。児童は自分が取り組みたいコースを選択し、参加しました。
- ⑤ 秋の「チャレンジテスト」 道教委主催の秋のチャレンジテストに参加し、基礎的な力、活用する力の向上を図るとともに、実態把握に役立てました。
- ⑥ 日常の「授業改善」 校内研究では「学びの基礎」づくりに取り組み、低・中・高の各ブロックが発達段階に合わせたテーマ(個別の支援・表現力の向上・既習事項を活かした学び合い)を設定し、授業研究会を柱とした日常の授業改善に取り組みました。

3 成果(○)と課題(●)

- 学力向上については、まだ明確な変容があるとは言い切れませんが、学習活動に前向きに取り組む姿や家庭学習習慣の向上などが少しずつ見受けられ、今後も取り組みを継続することで、一層の成果を上げていきたいと考えています。
- 家庭学習など、家庭の協力を得て推進する取り組みについては、学校からのより具体的な提示を工夫したいと考えています。